

きゅうりのごはん、ちゃんと足りてる？

県中農林事務所須賀川農業普及所

1 背景・ねらい

【背景】

- ・須賀川地域は歴史ある「きゅうり産地」だが、生産者の平均年齢は年々上昇
- ・ほとんどのベテラン生産者は、個人の経験に頼った施肥管理で再現性が低い
- ・新規栽培者は、施肥管理のコツをつかむまでに相当の期間を要している

【ねらい】

適期に適切な施肥管理を行うために、ほ場で植物体の栄養状態を数値化し、その結果に基づいて追肥指導を行うことができる「リアルタイム栄養診断」を実施することで、経験に左右されない施肥管理手法を導入し、新規就農者からベテラン生産者まで、収量と品質の安定化を図る。



図1 コンパクトイオンメーター

2 活動内容

(1) 新規栽培者への支援

R4年度

- ・栽培2年目の新規栽培者において、コンパクトイオンメーターによる「リアルタイム栄養診断」を実施し、収穫期間中、きゅうりの硝酸イオン濃度が低い状態を確認

R5年度

- ・側枝の発生が活発になるまで、硝酸イオン濃度を適正に保つ追肥指導を実施
- ・生育段階に応じた栄養管理に重点を置き、施肥タイミングを適正化

(2) 関係機関との連携とベテラン生産者も含めた支援

R6年度

- ・きゅうり振興会議で、これまでの取組をJAと共有
- ・巡回指導やJA共選場(きゅうりん館)営農相談窓口でJAとともに複数の生産者に「リアルタイム栄養診断」を実施

R7年度

- ・集団指導会でも、新規栽培者からベテラン生産者まで「リアルタイム栄養診断」を実施



図2 きゅうりん館営農相談窓口での測定の様子

(3) 栄養診断カルテの作成 (R7年度)

- ・ほ場ごとの現在の栄養状態や目標値が一目でわかる「**栄養診断カルテ**」を作成し配布

3 活動成果

(1) 「リアルタイム栄養診断」を用いた新規栽培者への支援

- ・巡回指導時に「リアルタイム栄養診断」を行い、栄養状態に合わせた追肥指導を実施
- ・収穫期間中の硝酸イオン濃度が目標の3,000~5,000ppmで推移し、単収が**増加!**

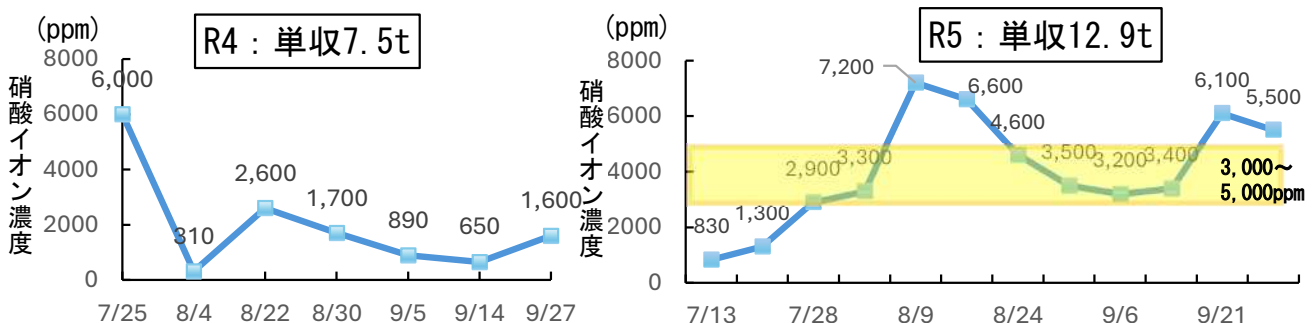


図3 硝酸イオン濃度の値の推移 (新規就農者 A氏 露地栽培)

(2) 関係機関と連携した「リアルタイム栄養診断」の実施

- ・ 個別巡回や集団指導会で、複数生産者への栄養診断実施
- ・ 栄養診断に基づく適正施肥の重要性が生産者に浸透
- ・ 栽培ほ場で測定を行うことで、経験に左右されない栄養診断の有効性を多くの生産者が実感！
- ・ 実践する生産者が、**1戸 (R5) →145戸 (R7) まで増加！**



図4 ほ場での栄養診断の様子

適正施肥に繋がる栄養診断の重要性の認知度向上！

(3) 栄養診断カルテの活用

さんには！
須賀川農業者会所です！

きゅうり栄養診断結果
測定日令和7年 9月 28日 測定結果

高木農林事務所須賀川農業普及所
住 所 須賀川市花園34の2
電 話 0248-75-2181 FAX 0248-72-8331
E-mail sukagawa02@pref.fukushima.jp

硝酸イオン濃度(NO₃⁻) 4200 ppm
カリウムイオン濃度(K⁺) 5600 ppm

項目	濃度 (ppm)		
	収穫初期	収穫盛期	収穫終盤
硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	5000~6000	3000~5000	3000
カリウム(K ⁺)	3000~4000	3000~4000	3000~4000

コメント 葉巻パンケソで！
この数日、収穫が多かったので、追肥も
たよりにしてみました。
涼しくなってきたので、うねで、病の子供も
やめてみました。収穫も多かったです。おかげさ
すです。 担当者 小島 洋

きゅうり500kgとるために
必要なN成分量 1.2kg

成分量 (現物量)	(N-P-K)
トミー液肥(ブラック)	(10-4-6) 1.2kg
トミー液肥(グリーン)	(6-8-8) 2.0kg
ステップL	(10-1-2) 1.2kg
ステップV	(5-0-8) 2.4kg
アミノキッポ	(7-3-3) 1.7kg
硝酸安加里S646	(16-4-16) 7.5kg
くみあいポラスS551(15-15-11)	8kg
夢のみ追肥専用化成626(16-2-16)	7.5kg

きゅうり1t生産するのに必要な養分吸収量(kg)

	窒素	リン酸	カリ
吸収量	2.4	0.9	4.0

肥料と
成分一覧

**生産者との
コミュニケーション
ツールになった！**

図5 作成した栄養診断カルテ

リアルタイム栄養診断+栄養診断カルテ→経験だけに頼らない判断が可能！

(4) ベテラン生産者も増収！

- ・ 定期的に栄養診断し、適期に追肥することで単収が**増加！**
- ・ 栄養診断カルテを基に、自らの収量目標に応じた施肥量へ微調整
- ・ 自分でイオンメーターを購入し、栄養診断を行う生産者が増加

リアルタイム
栄養診断が
産地に浸透

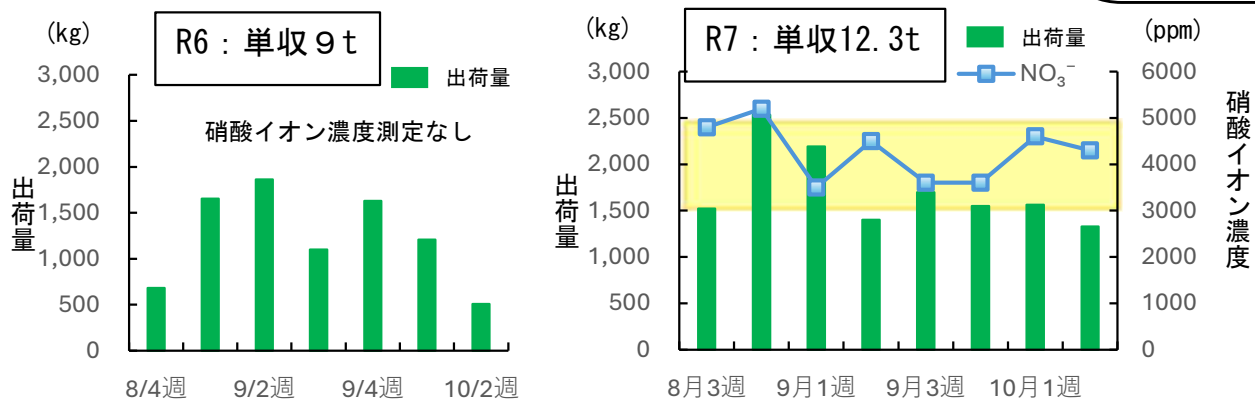


図6 週別収量と硝酸イオン濃度の推移 (ベテラン生産者 B氏 抑制栽培)

4 今後の活動・方向性

- ・ 生産者自らいつでも「リアルタイム栄養診断」を実施できるよう、JAと連携し体制を整える。
- ・ 増収事例や各作型のデータを整理し、指導会や研修会で情報共有することで、産地全体に取組みを拡大する。

きゅうりのごはん、いい塩梅ですっ！

